



令和6年度全国学力・学習状況調査結果等を受けて、算数科における課題の改善点を紹介をします。授業アイデア例の「敢えて教師が問い掛けているところ」や「児童主体の学びとなる展開」を日々の実践に生かしていきましょう。

課題 球の直径の長ささと立方体の1辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す

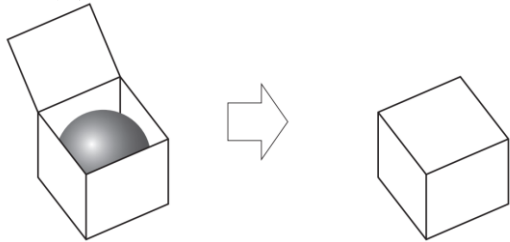
平均正答率 徳島県33.8% 全国36.5%

3 (3)

直径22cmの球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

授業アイデア例

ボールが入った箱の体積を求めよう 第5学年

児童のつまずき

「ボールの直径」や「立方体の体積の求め方」については理解していたとしても、本設問のように「ボールの直径」と「立方体の1辺」の関係を捉えて問題解決することはできていないと考えられる。

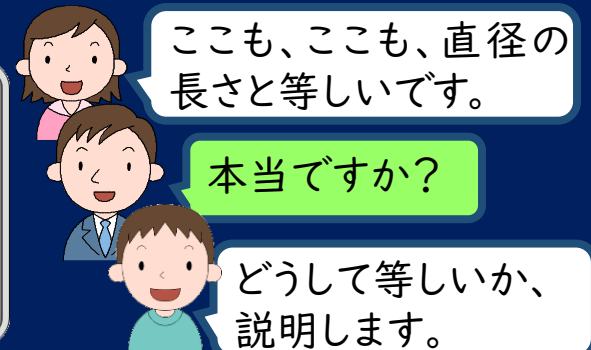
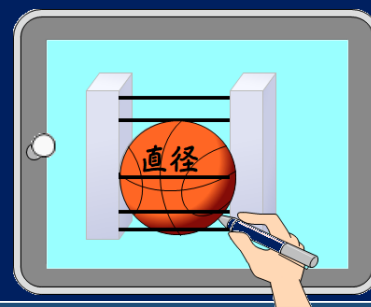
授業改善

ボールを直方体などではさみ測定する活動においては、タブレットで撮影し、

児童がペンでボールの直径の長さを可視化する。ボールの直径の長さが、ボールと直方体が接していないところの長さに対応していることを捉えられるようにするため、敢えて問い、説明する場を設ける。



学習指導要領解説
算数編P162より



課題 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する

平均正答率 徳島県72.7% 全国73.3%

5 (2)

右の表をもとにして、1960年代のC市では、開花日が3月だった年と4月だった年が、それぞれ何回あったかについて、下の表にまとめます。

年	市	A市	B市	C市	D市
1960		3月28日	3月23日	3月28日	3月29日
1961		4月1日	3月31日	4月3日	4月1日
1962		4月2日	3月30日	4月6日	4月5日
1963		4月4日	4月2日	4月6日	4月5日
1964		4月4日	4月2日	4月5日	4月3日
1965		4月8日	4月2日	4月12日	4月13日
1966		3月25日	3月26日	3月26日	3月29日
1967		3月31日	3月29日	3月30日	4月1日
1968		3月31日	4月2日	4月4日	4月4日
1969		4月4日	4月5日	4月8日	4月9日

(気象庁ホームページをもとに作成。)

C市の開花日の月別の回数 (1960年代)

開花日の月	回数 (回)
3月	㊦
4月	㊩

上の表の㊦、㊩にあてはまる数を書きましょう。

授業アイデア例

桜の開花日について調べよう 第5学年

児童のつまずき

二次元の表の見方について、縦の項目と横の項目の両方の意味をもっていることが理解できていないと考えられる。

授業改善

二次元の表において、横の項目と縦の項目の2つの意味があることを児童が色使いや矢印などによって、可視化する。

年	市	A市	B市	C市	D市
1960		3月28日	3月23日	3月28日	3月29日
1961		4月1日	3月31日	4月3日	4月1日
1962		4月2日	3月30日	4月6日	4月5日
1963		4月4日	4月2日	4月6日	4月5日
1964		4月4日	4月2日	4月5日	4月3日
1965		4月8日	4月2日	4月12日	4月13日
1966		3月25日	3月26日	3月26日	3月29日
1967		3月31日	3月29日	3月30日	4月1日
1968		3月31日	4月2日	4月4日	4月4日
1969		4月4日	4月5日	4月8日	4月9日

(気象庁ホームページをもとに作成。)



課題 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる

平均正答率 徳島県67.4% 全国70.0%

4 (2)

たけるさんは、3分間で180m歩きました。
同じ速さで歩き続けると、1800mを歩くのに
何分間かかりますか。
答えを書きましょう。

児童が意味や根拠を説明するときのポイント

- ・図を効果的に用いましょう。
- ・全員の児童が説明する場を設け、その頻度をあげましょう。
- ・ペアで説明し合うとき、一方的な説明ではなく、児童同士が質問し合いましょう。

授業アイデア例

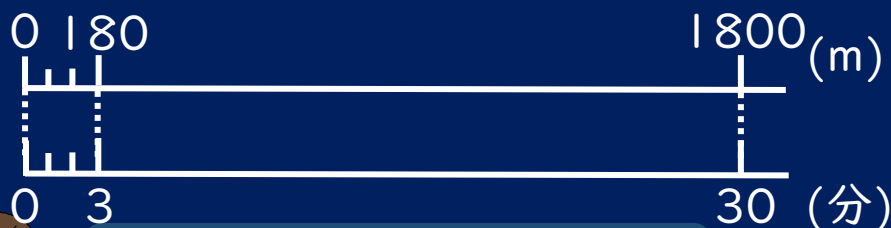
家から図書館までの自転車の速さを考えよう
第5学年

児童のつまずき

速さ、道のり、時間の関係を捉えられていないと考えられる。

授業改善

数や式だけでなく、道のりや時間等の関係を図を用いて児童が可視化する。完成された図ではなく、完成するまでの過程を重視する。適用問題においても、式と答えだけでなく、図を用いて説明する場を設ける。



どうしてこのような図をかいたの？

3分間で180mだから、道のりと時間を図で表したよ。1800mは180mの10倍でしょ。だから、かかる時間も10倍になるよ。

どういうことか、お隣の人と話してみよう。

課題 数量の関係を、□を用いた式に表すことができる

平均正答率 徳島県88.0% 全国88.5%

1 (2)

たくみさんは、はじめに折り紙を何枚か持っていました。
ゆうまさんから38枚もらって、全部で62枚になりました。
このことを、たくみさんがはじめに持っていた折り紙の枚数を□枚として式に表します。

下のアからエまでの中から、正しい式を1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア $62+38=\square$
- イ $\square+38=62$
- ウ $\square-62=38$
- エ $\square-38=62$

児童のつまずき

未知の数量を□などの記号を用いて、問題場面どおりに数量の関係を式に表すことができていないと考えられる。

授業改善

たし算かひき算か、はっきりしないことを取って取り上げ、共感し、児童が図に表す場を設ける。どうしてそのように考えたのかを問い、説明する場を設け、記号のよさに気付くことができるようにする。



何に困っているのですか。



たし算かひき算か、はっきり分かりません。どうしたらはっきりするかな。

授業アイデア例

たすのかな？ひくのかな？ Part1
たすのかな？ひくのかな？ Part2 第2学年